

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	環境情報活用小委員会		主 査 名：横尾昇剛 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (環境設計運営委員会)		委員長名：持田灯 主 査 名：中島裕輔
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2020 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に関する包括的な取り扱いについての新たな知見の整理 ・ 企画, 設計, 運用の各プロセスを通じて, これまで扱われていなかった環境情報のフレーム構築 ・ 当該分野の新たな研究課題の抽出と重要性を検討 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	横尾 昇剛 (宇都宮大学), 中島 裕輔 (工学院大学), 山田 貴宏 (BioForum 環境デザイン室), 岩田 三千 (摂南大学), 木村謙 (エーアンドエー), 高口 洋人 (早稲田大学), 堀 英祐 (近畿大学), 吉村 靖孝 (早稲田大学・吉村靖孝建築設計事務所), 藤原紀沙 (宇都宮大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2019 年度予算	78,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：作成中	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境情報活用に関する研究事例を共有した 2. 環境情報活用に関する開発事例を視察し共有した 3. 環境情報活用に関する都市環境評価事例を共有した
委員会活動の問題点 ・ 課題	遠方の委員の参加

2019 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A B C D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>本小委員会では、建物及び建物内外に関わる情報全般を網羅的にレビューし、類型化した後、設計や建物運用、ステークホルダー間のコミュニケーションに活用出来る環境情報のフォーマット、IoT 化に対応した環境設計、建物運用の方法論をまとめ、設計ツールなどへの反映方策を検討を行った。</p> <p>また、環境情報に加え、環境と防災を包括的に取り扱う考え方を展開する準備として、復興地域の再開発事例についての視察を行い知見を整理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見える化と環境情報・家歴情報 ・ 地域再創生と環境情報 ・ 建物の IoT 化動向 建物事例 ・ 不動産分野と環境情報 ・ BIM と環境情報 ・ 環境負荷情報 Embodied energy & CO2 ・ 都市評価の環境情報 ・ 環境と防災を考慮した再開発

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。